

令和8年度「シラバス」 教科：工業 科目：実習

単位数	4	学科（型） 学年	電気システム科 2年（ロボット型）	教科書 副教材等	自作テキスト
学習目標		実習に関する基礎的な知識・技術を習得する。また、構造やしぐみに関する学習を通して基礎的な理解を深め、実習の基礎を学び多方面で活用する能力を高める。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	電子工作実習 論理回路 溶接 電気基礎実習			○電子機器製作を行いハンダごて、工具の使い方を習得する。 ○マイコンの基本を学びプログラミング制御を習得する。 ○基本的なデジタル I C の使用法を習得する。 ○論理回路に関する論理式・記号についての知識を深める。 ○酸素アセチレンガスの取り扱いを習得する。 ○ダイオードの基本的な性質を理解する。 ○トランジスタの基本的な性質を理解する。	
2	シーケンス実習 3Dプリンター実習			○リレーシーケンス・PCの基礎知識を理解する ○3Dプリンターによる部品製作実習を通して、空間認識能力の向上を図る。	
3	溶接実習			○アーク溶接・ガス溶接・切断実習をこない基本的な技術も身に付ける。	
評価の観点		内 容			
知識・技術		・工業の各分野に関する基礎的な知識から応用的な技術を身に付け、工業の発展と環境・資源などとの調和の取れたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技術を身に付けている。			
思考・判断・表現		・ものづくりに関する諸問題の適切な解決を目指して、広い視野から自ら思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身に付けている。			
主体的に学習に取り組む態度		・ものづくりについて主体的に興味・関心を持ち、知識・技術の習得に向け意欲的に取り組み、更に、その改善向上を目指して意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身に付けている。			
評価方法	実習態度・学習意欲・実習レポートを中心に評価し、中間・期末考査は実施しない。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 実習は危険な作業を伴うこともあるので、服装や態度には注意を払うこと。 ○ 進んで授業に取り組み、分からないところはその日のうちに解決すること。 ○ 積極的に活動し、技術を体得すること。					